

外部委託業者の募集

References: IO/22/PIN/OT/70000788/KJT

"Services for Commissioning support"

(試運転支援のためのサービス)

IO 締め切り 2022 年 3 月 28 日(月)、国内締め切り 2022 年 3 月 28 日(月)

〇はじめに

この事前情報通知 (PIN) は、供給契約の審査および実行につながる公開入札調達プロセスの最初のステップです。この文書の目的は、作業範囲と入札プロセスに関する技術的内容の基本的な概要を提供することです。

国内機関は、これらのサービスを提供することができる企業、機関又はその他の団体が入札の詳細を事前に通知する前に、この情報を公表することが求められます。

〇背景

ITER プロジェクトは、欧州連合 (EU) (EURATOM を代表とします)、日本、中華人民共和国、インド、韓国、ロシア連邦、米国の 7 カ国が共同出資する国際的な研究開発プロジェクトで、ITER 機構 (IO) の本部 (HQ) があるヨーロッパ、フランス南部のサン・ポール・レ・デュランスで建設されています。

ITER プロジェクトの組織面および技術面の詳細については、www.iter.org を参照してください。

〇作業範囲

本作業の範囲は、電気機械及びフィールド I&C 試運転実施、試運転、運転及び保守文書の作成及び準備並びに試運転関連業務の準備を含む ITER プロセスシステムの試運転をカバーするフルタイムのサービスです。

試運転フィールドタスクに要求されるサービスは、関連するシステム試運転計画およびシステム設計説明書に定義されているシステムの機能を実証するために必要なすべての作業をカバーします。これには、バルブテスト、MCC/DB キュービクルテスト、センサテスト、フラッシングテスト、I&C キュービクルテスト、入出力テスト、モーターテスト、ポンプテスト、フローバランシングなどが含まれますが、これらに限定されません。

請負人は、イーターシステムの試運転、運転又は保守に関する文書の電子機械式及びフィールド I&C 試運転、試験及び記録に基づくサービスを提供しなければなりません。

〇調達プロセスと目的

目的は、競争入札プロセスを通じて供給契約を落札することです。

この入札のために選択された調達手続きは公開入札手続きと呼ばれます。

オープン入札手順は、次の 4 つの主要なステップで構成されています。

- ステップ 1-事前情報通知 (PIN)

事前情報通知は公開入札プロセスの第一段階です。IO は、企業、機関または他の団体に事前に入札の機会について通知するために、今後の入札に関する情報を公開するよう国内機関に正式に招待します。事前情報通知は IO ウェブサイトで公開されます。

関心のある入札者は、下記の調達期間の表に示されている期日までに、関心表明書（付属書 I）を電子メールで返送してください。

➤ ステップ 2-入札への招待

PIN の公表から 10 営業日以内に、入札者向け説明書（ITT）が通知されます。この段階では、PIN を確認した関心のある入札者が事前情報通知書入手し、入札説明書に従って入札書類を作成して提出することができます。

➤ ステップ 3-入札評価プロセス

入札者の提案は、IO の公平で専門的な技術評価委員会によって評価されます。入札者は、ITT に記載された特定の基準に従って、技術的な範囲に沿って作業を実行するために、技術的なコンプライアンスを証明する詳細を提供する必要があります。

➤ ステップ 4-落札

供給契約は、ITT に記載された評価基準及び方法に従って、金銭の最良の価値に基づいて締結されます。

○概略日程

概略日程は以下の通りです：

マイルストーン	暫定日程
事前指示書（PIN）の発行	2022 年 3 月 11 日
関心表明フォームの提出	2022 年 3 月 28 日
入札者向け説明書（ITT）の宣伝	2022 年 4 月 4 日
明確化のための質問（あれば）と回答	2022 年 5 月 6 日
入札提出	2022 年 5 月 16 日
入札審査と契約授与	2022 年 5 月
契約調印	2022 年 6 月

○契約期間

ITER 機構は、2022 年上半期にサービス・フレームワーク契約を締結します。契約期間は 4 年間で、2 年間の延長が可能です。

○経験

入札者は、IO の技術要件に従って入札者は、IO の技術要件に従って光ファイババンドル用の供給を提供する実装の知識、経験および能力を実証するものとします。

IO の使用言語は英語です。

○候補

参加は、個人またはグループ/コンソーシアムに参加するすべての法人に開放されます。法人とは、法的権利及び義務を有し、ITER加盟国内に設立された個人、企業又は機構をいいます。

法人は、単独で、またはコンソーシアムパートナーとして、同じ契約の複数の申請または入札に参加することはできません。共同事業体は、恒久的な、法的に確立されたグループ又は特定の入札手続のために非公式に構成されたグループとすることができます。

コンソーシアムのすべての構成員(すなわち、リーダーと他のすべてのメンバー)は、ITER機構に対して連帯して責任を負います。

コンソーシアムとして許可されるために、その点で含まれる法人はコンソーシアムの各メンバーをまとめる権限をもつリーダーをもたなければなりません。このリーダーはコンソーシアムの各目メンバーのために責任を負わなければなりません。

指名されたコンソーシアムのリーダーは、入札段階でのカバーレター(入札への招待)で、コンソーシアムのメンバーの構成を説明する予定です。その後、候補者の構成は、いかなる変更もITER機構に通知することなく変更してはなりません。かかる認可の証拠は、すべてのコンソーシアムメンバーの法的に授権された署名者が署名した委任状の形式で、しかるべき時期にIOに提出しなければなりません。

【※ 詳しくは添付の英語版技術仕様書「**Technical Specification and Statement of Work - Services for Commissioning support**」をご参照ください。】

ITER 公式ウェブ <http://www.iter.org/org/team/adm/proc/overview> からアクセスが可能です。

「核融合エネルギー研究開発部門」の HP : <http://www.fusion.qst.go.jp/ITER/index.html>
では ITER 機構からの各募集 (IO 職員募集、IO 外部委託、IO エキスパート募集) を逐次更新しています。ぜひご確認ください。